



オニユリ（ユリ科）
ムカゴをつくります。



カサブランカ（ユリ科）
ユリの女王といわれます。



カノコユリ（ユリ科）
花弁に鹿の子模様があるから
この名前が付けました。



ミソハギ（ミソハギ科）
お盆の頃花が咲き、
盆花として使われます。



ヤマニガナ（キク科）
背が高く黄色い花が咲き、6月
下期に紹介したムラサキニガナと
同じ Asteraceae 属です。



ガンクビソウ（キク科）
名前は、花がキセルの雁首に
似ていることによりです。



アオサギ（サギ科）上池の水を抜
いたため、取りやすくなった小魚
を狙ってアオサギが良く来ます。



エゴノネコアシアブラムシ
（アブラムシ科）による虫えい
形がネコの足に似ています。



オオスカシバ（スズメガ科）の
幼虫 クチナシを食草としています。



サルスベリ（ミソハギ科）
漢字は「百日紅」で、開花期が
長いのが特徴です。

令和元年8月上旬

みどころ Mikiyama

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

ガンクビソウ、ヌカキビは、園内各所で見られます。
オオスカシバの幼虫は、クチナシの葉やつぼみを食べています。

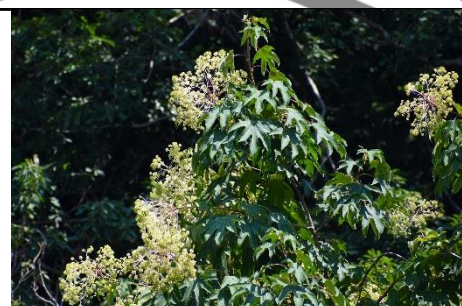


上池の浚渫とスイレンの除去
上池では、スイレンがはびこり
水辺の生きものが活動する
場が無くなっているため、
スイレンと土砂の除去を行
いました。

ハリギリの花が咲いています
エゴノキがあります
ムクゲが咲いています
サルスベリが咲いています



ハリギリの樹皮



ハリギリ（ウコギ科）

若い木にはトゲがあります。現在満開です。



ミズヒキ（タデ科）

ミズヒキとキンミズヒキは、和名が似ていますが、科が違う全く別の植物です。



キンミズヒキ（バラ科）



ヌカキビ（イネ科）
小穂（しょうすい）が目立ちます。



ナンバンギセル（ハマウツボ科）
ススキなどの根に寄生します。和
名はキセルに似ていることから。



カワラナデシコ（ナデシコ科）
秋の七草の一つです。



ムクゲ（アオイ科）

福井